



火山都市国際会議 島原大会 事務局

〒855-0879 長崎県島原市平成町 1-1

雲仙岳災害記念館(がまだすドーム)内

TEL:0957-65-5540 FAX:0957-65-5542

MAIL:cov5@city.shimabara.nagasaki.jp

URL:<http://www.citiesonvolcanoes5.com/>

NEWS RELEASE

2006年(平成18年)5月16日

6月3日「いのりの日」子ども発表会を行います

概要

2006年6月3日(土)に火山都市国際会議のイベントとして、市内の小学校の児童らによる「子ども発表会」及び火山講話、雲仙岳災害記念館の館内総合学習会を行います。

今年6月3日は、43名もの尊い生命が犠牲となった平成3年の雲仙普賢岳火砕流惨事の日から、まる15年目となります。

来年11月島原開催に向け準備を進めている火山都市国際会議島原大会実行委員会では、同大会のイベントとして、島原市の「いのりの日」である6月3日に、普賢岳噴火災害の経験と教訓を風化させない、との趣旨から、島原市立第四小学校及び第五小学校のご協力と雲仙岳災害記念館のご協賛のもと、下記により『「いのりの日」子ども発表会』を開催します。

当日の内容は、島原復興サブアリーナでの子ども発表会及び火山講話の開催と併せ、雲仙岳災害記念館での館内総合学習を予定しています。

また、記念館館内学習の後、火砕流惨事が起きた午後4時8分には、記念館前中庭において参加者全員で「黙祷」を行います。

記

- 1 名称：6月3日「いのりの日」子ども発表会
- 2 主催：火山都市国際会議島原大会実行委員会（島原市及び日本火山学会ほか）
協賛：雲仙岳災害記念館
- 3 会場：島原復興サブアリーナ及び雲仙岳災害記念館（島原市平成町）

- 4 内容：「いのりの日」子ども発表会、火山講話、雲仙岳災害記念館・館内総合学習、午後4時8分黙祷、閉会
- 5 日程（予定）：
- (1) 13：30～受付
- (2) 14：00～第1部：「いのりの日」子ども発表会
- ア 島原市長 吉岡庭二郎 挨拶
- イ 火山都市国際会議島原大会実行委員会委員長（日本火山学会副会長＜東京大学地震研究所教授＞）中田節也 挨拶
- ウ 小学生（島原市立第四小学校、第五小学校）からの「いのりの日」発表
- エ 火山講話：講師 長崎県教育センター教育情報課 主任指導主事 寺井邦久先生＜テーマ『雲仙岳災害記念館でここを学ぼう！！』＞⇒終了後、災害記念館へ移動
- (3) 15：00～第2部：雲仙岳災害記念館・館内総合学習（有料ゾーン及び無料ゾーン＜メディアライブラリー【パソコンコーナー及び図書コーナー】＞での閲覧学習。九州大学学生も案内役を勤めます。）～16：00まで
- ※第1部「いのりの日」子ども発表会の参加者（保護者、一般住民含む）は、当日、記念館の有料ゾーン（大噴火シアター等）の入場料が無料となります。**
- (4) 16：08 黙祷（雲仙岳災害記念館前中庭）
- (5) 16：10 閉会
- 6 備考：火山都市国際会議島原大会事務局（担当：松下）電話 0957-65-5540

火山都市国際会議 Cities on Volcanoes Conference

火山都市国際会議は、火山学分野の国際学術組織であるIAVCEI(国際火山学地球内部化学協会)がほぼ2年おきに開催している国際フォーラムです。この大会は、火山学だけではなく様々な分野の研究者や行政関係者、防災関係者が火山活動の社会に与える影響について議論する会議であり、危機管理、都市計画、社会学、心理学、教育なども含んだ連携作業を行うことにより、火山災害の軽減を目指しています。

同会議はこれまでにイタリア・ローマ及びナポリ市(1998)、ニュージーランド・オークランド市(2001)、ハワイ・ヒロ市(2003)、エクアドル・キト市(2006)で開かれており、第5回となる島原大会（島原復興アリーナ及び雲仙岳災害記念館で開催）はアジアでは初めての開催となります。世界約40ヶ国から600人以上の参加を目指しています。